

(福) ケアハウス信愛館

社会福祉法人近江兄弟社地塩会元理事長、ケアハウス信愛館元施設長でありました福井清一兄が七月十四日午後五時三十八分七十八歳の地上の生涯を終え天に召されました。

平成十六年四月から施設長として九年間、また理事長としても平成二十三年五月に就任され、平成二十六年七月に退任されました。在任中は、キリスト教の隣人愛や奉仕の精神を基に高齢者施設の運営に心血をそそがれました。幼い頃からヴォーリズ先生の薫陶を受けられ、その意思を見事に福祉の分野で実現されました。皆でその心を受け継ぎ「医療・保健・福祉の里」の施設の一環として連携を深めるとともに、「ケアハウス信愛館」の発展に努めたいと思



ます。施設一同これまでの御苦勞に感謝いたしております。

◆残暑お見舞い申し上げます。今夏は連日異常な猛暑。入居者の中には冷房を好まない方もあり、水分補給と合わせて、説得に追われる日々でした。

◆七月二日(月)いつものように職員が自宅庭に自生している笹を持つてきてくれました。入居者の方々に新たに作られた、彩り豊かなセロファン製の「吹き流し」が七夕飾りに加わり、風が吹くとキラキラ光りながら揺れ動く様はとても綺麗で、他の飾りとも相まって二本の笹は玄関ホー

ルで訪問される方々の目を楽しませてくれました。

◆七月十一日(水)「絵本を読む会」が集会室で開催されました。早いもので今回は八回目。鶴谷頼子さんの蔵書から選ばれた絵本を入居者個人が思い思いに手に取って熱心に見入れられ、中には初めて参加された方もあり、鶴谷さんの説明を熱心に聞かれていました。絵本の魅力に一人でも多くの入居者が気付いていただければ・・・との願いから、次回も近いうちに開催する予定です。

◆七月二十一日(土)さんかく塾「いざというときに備える！〜誰もが安心・安全な避難所を作るために〜」と題した講座が県立男女共同参画センター大ホールであり、職員二名が参加しました。「避難所」と一口に言っても様々な人々が避難されるが、その求められる対応も色々あり、東日本大震災時を例にあげ説明されました。難しい課題ですが信愛館で何ができるか検討するつもりです。